

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会 (EMM)

専門委員長 岩村恵市 副委員長 日置尋久・栗林 稔

幹事 生源寺 類・藤吉正明 幹事補佐 姜 玄浩・村田晴美

日時 11月6日(月) 14:30~17:30

7日(火) 10:00~13:50

会場 鹿児島大学郡元キャンパス (鹿児島市郡元 1-21-24. <https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>)

議題 異種メディア融合, コンテンツ処理, メディア検索, 電子透かし, 一般

6日

1. 電子透かしの抽出を目的とした符号化開口の設計に関する実験的検討
○濱崎弘樹・中居謙太郎・竹下真悟・前原 武 (鹿児島大)・園田聡葵 (九大)・三嶋道弘 (鹿児島大)・川崎 洋 (九大)・長原 一 (阪大)・小野智司 (鹿児島大)
2. スマートフォンに表示される2次元コードを対象とした電子透かしのシミュレーションによる設計
○竹下真悟・前原 武・神蘭 誠・小野智司 (鹿児島大)
3. 近赤外蛍光樹脂による3Dプリンター造形物内への情報埋め込み 松本知久・中村耕介・鳥井秀幸 (神奈川工科大)・鈴木雅洋 (常磐大)・高嶋洋一 (NTT)・○上平員丈 (神奈川工科大)
4. ニューラルネットワークを用いた符号化器による電子透かし法 ○濱元一平・川村正樹 (山口大)
5. エコー拡散法に基づく音響電子透かし分散の検討 ○野口 洲・藺田光太郎・喜安千弥 (長崎大)
6. k-匿名分割における元の交換による情報損失減少アルゴリズム
○重岡広大 (阪大)・秋山寛子 (長野高専)・和田昌昭 (阪大)

7日午前

1. プライバシー保護のための可逆圧縮に適した可逆電子透かし
○栗林 稔 (岡山大)・バイブハブ B. ジョシ・メイフィル S. ラバル (アーメダバード大)
2. EMMの講演データの簡単な解析—2011年5月から2017年3月まで— 日置尋久 (京大)
3. [招待講演]「刺さる」マルチメディアコンテンツを科学する—ビッグマルチメディアデータを用いた魅力解析—
山崎俊彦 (東大)

7日午後

4. 誤り訂正符号を用いたDCT-OFDM型電子透かし方式の耐性向上に関する考察
○重本章吾・栗林 稔・船曳信生 (岡山大)
5. 電子透かし方式の安全性を高めるための難読化処理に関する考察 ○山下晃一郎・栗林 稔・船曳信生 (岡山大)

◎6日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆EMM研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2018年1月29日(月), 30日(火) 東北大青葉山キャンパス [未定] テーマ: 臨場感生成, ユニバーサルメディア, デジタルエンタテインメント, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>